## 北津寮運営委員長

# 井尻 勲 君

## 無力感はあるだろうけどね でも反対しても全てムダということはないよ

**日曜日の午前十時。いつもならまだほとんどの人が寝ているはずの北津寮も、今日は恒例の寮内駅伝大会の最中ということで、みんな出払ってガランとしている。そんな中で一人うす暗い旧寮の一室にこもって仕事をしていた井尻君に僕たちは、寮外の一般学生として寮問題についての質問をしてみた。**

――きのう教養部で何人かの学生にインタビューしてみたんだけど、ほとんどの人が寮問題についてまだ知らないみたいだね。

**井尻** まだ宣伝不足なのかなぁ、ビラや立て看を出してやっているつもりなんだけど。

――どうも寮のビラなんかはものものしく感じるわ。もっとわかりやすく説明してくれたらいいのに。

**井尻** 僕らもなるべくわかりやすく、読みやすくしようと努めてはいるんだけどね。ただナントカ粉砕！というやつ、あまり一般受けしないのは認めるけど、あれが僕らの感性に一番ぴったりくるんだ。

――その辺に寮生と一般学生とのズレがあるんじゃない。

**井尻** うん、認識のズレというかね。

――寮生には直接身の上にふりかかってくる問題だろうけど。僕らには、ああそんなことが起きてるな、て耳に入れるだけで、どうもピンと来ないんだ。

**井尻** でも僕たちだって学生だし、寮生全員が同じ水準で寮のこと考えているわけでもないよ。でもね、寮に今かけられている攻撃を分析してみれば、それが寮だけでなく全学にかけられた攻撃ということがハッキリして、だから全学化できるし、全学化しなければいけないと思っている。ただ単に北津寮が困っているから助けてくださいと言っているのではないよ。

――友だちなんかと話してみると、みんな入寮募集停止はよくない、来年から貧しい人が大学に来れなくなるじゃないか、とは言うんだけど、結局自分には何の支障もないし、一緒になって運動しようというところまで思いいたらないなぁ。

**井尻** たしかにね、僕らもビラでは入寮募集停止で来年度から貧困学生が大学に来れなくなる、とは書くけど。でもその辺でかわいそうだ、と共感してもらっても一緒に闘っていくというようにはならない。いざとなったら自分は関係ないと言えるものね。

そうではなくて、入寮募集停止というのが岡大の中でどんな意味を持つのか、なぜ当局がわざわざ寮に新入生が入れないという状況を生み出したのか、ということを分析していけば、これはけっして寮生だけの問題じゃない、むしろ寮生だけにまかしておけるような問題じゃない、というのがわかると思うよ。

――でも一般の学生はみんなバラバラでしょ、寮生はそれに対してまとまっている感じで。

**井尻** 寮の共同体意識があるからね。

――だから一般の学生にはまとまろうとしても核になるものがないんよね。寮が全学の核として学生を引っぱっていけばいいと僕は思うんだけど。

**井尻** 実にそこなんだよ。

**今、岡大の中で大学側の管理体制に反対する核として動けるのは寮ぐらいしかないでしょう。**

自治会はほとんどダメだし。だから一番活発にやっている北津寮を大学当局はつぶそうとしているわけ。

入寮募集停止の意図というのは寮をつぶして、全学の学生を支配・管理しようとするところにあるというのが実にハッキリして来るでしょ。

――ところで四条件というのが問題になっているけどこれはどこがおかしいわけ。

**井尻** 僕たちは四条件を大きくわけて二つの点で間違っていると考えているんだ。

まず一つは寄宿費の値上げ、負担区分の完全導入、食堂の廃止などがね、授業料の値上げとか奨学金の有利子制化などと同じなんだけど、学生からさらにお金を取り上げようとしているということ

もう一つは学生の完全管理を狙っているということなんだ。個室の原則というのは、わざわざ四条件の一つに相部屋はダメ、個室でなければいけないと明記してあって、その意図するものはもう寮生をバラバラに分断して交流させないようにするものでしかないよね。それと管理運営権、入退寮権は学生部長が持つということで、大学に都合の悪い人間、学生運動なんかするヤツは寮に入れないとか退寮させるとか、あるいは管理人がマスターキーを持っていて部屋の中をチェックされる、なんてことも起きてくる。

――なぜ四条件が出されてきたの。

**井尻** かって学生は収奪とか管理強化とかに反対して運動してきたよね。特にその中で北津寮みたいな自治寮はしばしば核となって運動を盛り上げてきたわけ。それで今は学生運動は退潮しているんだけども、昔から生き残って自主管理を続けている寮をつぶしてしまわないと学生管理は完全になし切れない、と文部省は判断したんだ。そんなわけで四条件が出されてきたんだよ。

――実際に北津寮にはどういった形でかけられてきているわけ。

**井尻** 七十九年に会計検査院の指摘というのがあって、すなわち負担区分が通達どおりになっていない、国庫の超過負担があるから改善せよ、とね。それに建物が老朽化して危険だというわけで新寮を建ててそれに四条件を導入しようということになっているんだ。だからこの先、運動に失敗すれば大学当局の完全管理化の寮しか建たないだろうね。

――管理をきびしくすることによって学生運動の再燃を抑えようと。

**井尻** たしかに今は学生の意識が低いと言われ、寮問題なんかでも関心は少ないんだけど

**やっぱり戦争への危機意識なんかはかなり高まっているみたいだね。**

去年は三月二十一日広島、五月二十三日東京、十月二十四日大阪、と反核集会が続いたんだけどそれに何十万人もが集まって、岡大からも寮生を中心に毎回何十人もが参加している。中曽根内閣になると、彼はすぐ韓国へ行ったし、アメリカに行っては日本を不沈空母にするとか有事の際には四海峡を封鎖するとか言っている。軍事予算もものすごく増えているけど、これは別にソ連が攻めて来るかもしれないから、とかアメリカに要請されたからではなくて、日本という国自身が戦争するための準備を進めているんだと僕は思うね。

だから学生の意識もかなり高まって来てはいるじゃないのだろうかなぁ……。

――それが実際の運動には結び付かないんだよね。やはり学生の中に無力感があるのかな、反対してもムダだとか。

**井尻** うん、無力感はあるだろうけどね、でも反対しても全てムダということはないよ。

事実当局と闘うことで新女子寮での自主管理・自主運営権は勝ち取れたしね。あの時もうダメだ、と何もしなかったら当局側の管理人がいる女子寮が建っていただろうね。そして今、女子寮では自分たちで個室を相部屋にしていこうじゃないか、という話が出ているんだけど、これは自治寮だからできることでね。つまり四条件を内から崩していけるんだ。

――新サークルBOX問題は七十九年だけど全サークルが団結して運動したから新BOXの二十四時間自主管理が勝ち取れた。

**井尻** サークル全体となると人数も多いしね。

――それではここらで寮の具体的な運動について聞いていきたいと。まず新寮建設合意というのはどうなったの。

**井尻** 僕らは十二月四日の寮生大会で現女子寮なみの条件ならば新男子寮を建てることに合意すると決めた。女子寮なみというのは自主管理・自主運営ということで、これなら新寮の内でも充分闘争が組んでいけるからね。つまり四条件寮建設そのものを拒否して撤底抗戦していくと寮を完全につぶされてしまう可能性が高いので、闘争基盤としての北津寮を新寮に維持発展させて持ち込もうとしたわけ。

――ところが合意書を出せと言ってきたと。

**井尻** そう、当局は僕らが合意すると言っていったら、君たちまだビラでは四条件粉砕とか無条件新寮建設とか書いているじゃないか、これでは入寮募集停止は撤回しないし学生部長とも会わせない、いやだったら合意書を出せということになったんだ。つまり僕たちにもう四条件に反対しません、闘争しませんという証明書を出せというわけなんだ。

結局のところ入寮募集停止というのは一つの大きな恫喝であって、ほんとうのねらいというのはぼくらがそれにビビッて、闘争を放棄するのを待っているんだよね。

――それではこの先どうするわけ。

**井尻** 僕たちの本当の目的は岡大学生運動の核となる、闘争基盤としての北津寮を維持発展させることだから、そのためには合意書を出して屈服していくのではなくて、いわゆる実力で入寮募集停止を撤回、粉砕していかなければならない。

だから僕らは当局が認めなくても自主入寮募集を公然とやっていくしね。新入寮生を獲得して北津寮を守っていくよ。一方で学生部長実力交渉とかも考えてる。ただそういった運動は北津寮だけでやるんではなく全学の力でやっていく必要はあると思うんだ。そういったところで僕たちの運動をもっと全学化させるためにも、それに大学当局に対する学生からの巻き返しとしても二月三日の教養部ストを提起したわけ。

まぁストライキについては十数年ぶりだし、学生がストをするということがあまり理解されていないみたいな感じもあってね。下宿で寝てればいいのか、なんて思われたりもするし。もっと積極的な意味で自分が授業を拒否することによって大学側に抗議するというものなんだけどね。

いじり・いさお　法学部２回生　20才　和歌山県立桐蔭高校卒　サークルは邦楽部で寮内のロックバンドではベースを担当するという音楽少年でもある。人柄をかわれて１回生の時から運営委員に、昨年12月より北津寮82年度後期運営委員長。ファンレター・チョコレートの贈り先は岡山市津島中２－１－１　岡大北津寮（☎53－4209）